

障害者の生涯学習支援

～生涯学習に係わる効果的な学習プログラムの実践～

千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 電話 047-303-8011
FAX 047-303-8191



研究のポイント

学校を卒業した障害者が、社会で自立して生きる上で必要な学びのニーズを探るため、同窓会員対象のアンケート調査を行い、地域と連携した生涯学習講座を実施した。同時に、卒業生、保護者、職員、企業を対象にしたアンケート調査も行い、得られた結果をもとに多様なニーズを分析するなどして、学習プログラムの案を作成した。

■学校の概要

<http://www.chiba-c.ed.jp/ichikawaono-sh/>

知的障害のある生徒の社会的・職業的自立を図ることを目的とし、千葉県で2校目の専門学科を置く高等部単独の特別支援学校として、千葉縣市川市に平成24年4月に開校した。

職業に関する専門学科として、園芸技術科、工業技術科、生活デザイン科、流通サービス科の4つがあり、各学科24名、1学年96名の定員となっている。4つの専門学科はさらに9つのコースに分かれ、それぞれが本物のものづくりやサービスを目指し、実践を積み重ねている。「本物の働く力」「確かな生きる力」「地域とともに」「豊かな学校生活」をキーワードとして、将来の社会的・職業的自立を目指し、働く生活に必要な基礎・基本（関心・意欲・態度・体力・知識）を育み、豊かな生活を送れる人材の育成を図っている。

■研究課題

学校卒業後の障害者が、学校から社会への移行期、人生のライフステージにおいて、必要となる学びを明らかにし、具体的な学習プログラムや実施体制等について考察する。

■研究の目的と方法

【目的】

学校卒業後の障害者の学びのニーズについて明らかにし、卒業後の学びの場として生涯学習講座を実施し、卒業生の生涯にわたる学びの充実や社会生活への移行を支援する。

【方法】

- 卒業生、卒業生保護者、職員、卒業生を雇用している企業等へ「卒業後の学びに関するアンケート」を実施し、実態把握を行う。
- 卒業生対象の生涯学習を行っている先進校の実践を学ぶ。
- 生涯学習講座を実施する。
- 広域同窓会連絡協議会を設置し、卒業生に関係のある機関等と意見交換を行う。
- アンケート結果を分析し、学習プログラムを検討する。

■研究概要

【主な実践】

I アンケート調査（同窓会員、卒業生、保護者、企業、職員）

- 卒業生向けの生涯学習講座を実施するため、どのようなニーズがあるか同窓会員を対象に「生涯学習に係わるアンケート」を実施した。
- 障害者が職場で安定して働いたり、社会で自立した生活を送ったりするために、どのような支援のニーズがあるかを把握するため、卒業生、保護者、企業、職員に「学校卒業後の障害者の学びに関するアンケート」を実施した。

II 生涯学習講座の実施

- 同窓会員のアンケート結果を受け、スポーツ、ストレッチ、紅茶の講座など卒業後の学びの充実につながる内容の4講座を実施した。講師は地元自治会、公民館、市川市ボランティア、地域のスポーツクラブなど地域の人材を活用した。

III 先進校の視察

- 6月に職員で東京都立志村学園の視察を行った。志村学園が行っている卒業生向けの講座内容や実施時期について知ることができた。
- 東京都立あきる野学園内でPTAが中心となり、地域と連携して行っている講座「あきるのクラブ」の視察を1月末に予定している。本校職員以外に、PTAや親の会、同窓会の役員なども同行して見学する計画である。

IV 広域同窓会連絡協議会の設置

- 地域や特別支援学校、卒業生に関わる関係機関・関係者で集まり、意見交換を行った。

V 地域の講座について情報提供

- 地域とつながるきっかけとなるよう、地域で実施している講座やイベントの情報を一覧にしたプリントを学園祭で卒業生に配付し、説明を行った。

【成果】

I ニーズの把握

- アンケートの結果、卒業生、保護者、職員、企業のそれぞれの立場で異なるニーズがあることを知ることができた。

II 地域とのつながり

- 地域とのパートナーシップを大切にしたい生涯学習講座が実施できた。
- 講座修了後、テニス講座の講師が定期的に本校の部活動を指導してくださることになり、在校生の教育活動の充実にもつながった。

III 学習プログラムの作成

- 4者の異なるニーズを分析し、「リフレッシュ」「ライフプラン」「社会生活」「豊かな人生」をテーマとした具体的な講座内容の一覧（学習プログラムの案）を作成することができた。

【次年度に向けて】～「仲間と学ぶ、楽しむ、つながる」をキーワードに～

- 他機関や地域との連携による「学ぶ」プログラムの充実を図る。
- 卒業後も仲間と「楽しむ」学習プログラムの充実を図るとともに、地域資源の情報収集、情報提供、活用方法の相談にのるなど、「地域へつなぐ」取組を行う。
- 在学中から地域資源を知り、地域へ「つながる」ための学習を検討・実施する。

関連資料

- 学校卒業後の障害者の学びに関するアンケート（アンケート用紙・調査結果）
- 生涯学習講座の案内 等